



文責 本宮小学校長 佐久間仁

全 国学力学習状況調査

四月に六年生を対象に行われた全国学力学習状況調査について、本校の結果の概要をお伝えします。

【実施内容】

○教科に関する調査（国語、算数、理科）

○児童質問紙調査

【結果概要】

○教科に関する調査



本校の平均は県平均、全国平均ともに下回りました。

問題別では、「言葉の特徴や使い方」で県平均、全国平均を上回りました。「情報の扱い方」「我が国の言語文化」「話す・聞く」「書く」「読む」では県平均、全国平均を下回りました。

特につまずきが見られたのは、「自分が聞く」とする意図に応じ

て、話の内容を捉えることができたかどうかをみる」問題などでした。

今後の対応策として、聞くことの指導においては、話し手の考えと自分の考えを比較して共通点や相違点を整理したり、共通した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめることができるようにしていきます。

【算数】

本校の平均は県平均、全国平均ともに下回りました。

問題別では、「数と計算」「データ活用」で県平均を上回りました。「図形」「測定」「変化と関係」では県平均、全国平均を下回りました。

特につまずきが見られたのは、「台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる」問題などでした。

今後の対応策として、図形の操作活動を積極的に取り入れ、図形の構成要素間の関係に着目しながら考えさせることで、図形が回転した場合でも垂直や平行などの図形の性質は変わらず、元の図形と同じであると実感できるようにしていきます。

【理科】

本校の平均は県平均、全国平均

を下回りました。

問題別では、「地球」が県平均と同程度でした。「エネルギー」「粒子」「生命」では県平均、全国平均を下回りました。

特につまずきが見られたのは、「発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる」問題などでした。

今後の対応策として、観察、実験の方法を計画した段階で、どのような結果になるか見通しをもつことができるようにしていきます。

○児童質問紙調査

肯定的意見が少なかった質問項目は、「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあるか（習い事を除く）」「あなたは、自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成できると思うか」などでした。

今後の対応策として、地域・保護者ボランティアの協力の下、授業や放課後での勉強やスポーツ、体験活動の充実にも努めることともにICT支援員等による支援の在り方を検討・改善していきます。

朝食を見直そう



六月十六日～二十日にかけて「朝食について見直そう週間運動」を行いました。最終日の結果の概要は以下のとおりです。

※（ ）内は昨年度との比較

○朝食摂取率

九十九%（**十一**・四P）

○朝食の野菜摂取率

五十一%（**十**・五P）

○朝食の汁物摂取率

三十六%（**三**・五P）

○昼食以外に誰かと食事した回数

・二回（朝と夕）

七十八%（**十**・二P）

・一回（朝または夕）

二〇%（**十一**・二P）

・〇回（ない）

二%（**二**・四P）

昨年度と比較して、朝食摂取率が一・四割、野菜摂取率が〇・五割増加しました。また朝食以外に誰かと食事した回数では、「二回」「一回」とともに増加し、「〇回」が減少するなど、子どもだけで食事をする状況に改善が見られました。一方で、汁物の摂取率が低いという課題が残りました。忙しい朝ですが、引き続き栄養バランスのとれた朝食の準備をお願いします。